

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

委員会名	鋼構造素材小委員会	主 査 名：中込忠男
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：小野徹郎
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>鉄骨構造の地震時における破壊現象に関する既往の研究成果を調査し、破壊評価手法に関する調査研究を行う。また、設計に結びつけることを視野に入れ実用的なものを加味した形で報告書等にまとめ、最終的にシンポジウム又は講習会の形で会員への情報提供を行う。</p> <p>2001～2003 年度：文献による調査研究 2004 年度：種々の破壊解析手法の比較検討および検証 2005 年 11 月にシンポジウム開催予定</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>主査：中込忠男(信州大学) 幹事：山田丈富(千葉工業大学) 委員：一戸康生(住友金属工業) 宇田川邦明(東京電機大学) 梅国章(竹中工務店)、 桑村仁(東京大学)、崎野良比呂(大阪大学) 佐藤篤司(名古屋工業大学) 志村保美(新 日本製鐵) 田沼良一(バコーポレーション) 福田俊文(建築研究所) 堀江竜巳(清水 建設) 松本由香(横浜国立大学) 見波進(東京都立大学) 村山敬司(中部鋼鈹)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	300,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004 年 4 月 23 日・8 人、2004 年 5 月 28 日・8 人、2004 年 7 月 1 日・6 人、2004 年 9 月 8 日・5 人、2005 年 1 月 31 日・8 人、2005 年 3 月 16 日・8 人
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>鉄骨構造の地震時における破壊現象に関する既往の研究成果を調査し、各種破壊評価手法について把握を行った。それらの破壊評価法を検証する為に、梁端のディテールや溶接欠陥の大きさを実験変数とした実大の柱梁接合部の繰返し載荷実験を行い実際の破壊挙動の把握を行ない、各種破壊検証法の比較検討を行った。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>破壊評価法等に関する文献による調査研究は終了し、破壊評価法を検証するための柱梁の実大実験も終了した。現時点では、報告書にまとめるべく、種々の破壊解析手法の適用結果と実験との比較検討を行った。今後、11 月に開催予定のシンポジウムを目指して作業を進める。当初計画はほぼ到達しているものと判断している。</p>
その他評価すべき事項	